

2022年6月6日月曜日19時～

[追加開催] 短答後Q&A

19:00- 74%-の方

19:20- 71-73%の方

19:40- 計算が取れている70%以下の方

20:00- 基礎固めの方

20:30- なんでもQ&A

担当 :小野[財務計算]・平林[財務理論・個別相談]
藤沢[経営学](19-20時)・相澤[就職サポート]

本日の内容

はじめに 2

- ・本セミナーのねらい ・ お知らせ

I. 5月短答後 論文に向けたポイント 7

- ・ 74%~の場合 ・ 71~73%の場合 ・ 計算の下書き用紙について

II. 12月短答・8月論文に向けたポイント 12

- ・ 70%以下で計算が取れている場合・基礎固めが必要な場合

III. Q&A

- ・ 事前質問回答 ・ リアルタイムQ&A

各種質問・相談窓口・情報提供等

- ・ 校舎/zoom質問コーナー ・ 個別成績/学習方法相談
- ・ TAC会計士講座 就職サポート ・ 上級コース案内

本セミナーのねらい

ボーダー予想公表後によくご相談いただく、以下の疑問・不安の解消

「できるだけ早く相談したいが、どんな制度・イベントがあるか知りたい。」

「論文科目の勉強を始めたが、優先順位がわからない」

※論文式に向けた学習法詳細について、TAC生は本日配信済みの「論文式試験学習法セミナー」視聴
(Web School→「講座からのお知らせ」欄)

「計算が得意だが、今回が70%。論文科目を始めた方がよいか」

「ボーダーに大きく届かない見込みだが、今後どのように動けばよいか」

「計算のテコ入れが必要だが、いつまでにどんな教材を活用すればよいか」

「テキストの切り替えはどのように行えばよいか」

はじめに(お知らせ)

5月短答後に実施したオンラインセミナー等



TAC会計士Youtube

●各科目解答解説動画【Youtube配信済み】

●5/30(月) **論文対策学習法セミナー** (アーカイブ配信済み webschool 講座からのお知らせ欄
短答後論文対策を再開又は開始する方向けのガイダンス。
ケース別スケジュール例、租税の優先順位、学習法・本試験答案紹介など。

●5/30(月)19時～**5月短答後Q&Aセミナー**【アーカイブ配信済み】
【前半】今後のスケジュール・ポイントと各科目本試験講評/コメント 【後半】拡大版Q&A

●6/ 2(木)18時 **ボーダーライン予想動画**【Youtube配信済み】

●6/ 4(土)18時30分～**リスタートセミナー** (岡本・岡田・平林)【近日アーカイブ配信開始】
【前半】管理会計・監査論の効率的な学習、リスタートの場合の全体的なポイント
【後半】事前質問への回答・Q&A

通信生大歓迎！

予備校問わず参加OK！

2022年
会計士受験生
あつまれ！！

2022年会計士受験生のための

短答式リスタート！

『ホームルーム＆交流会』

【予約不要・参加無料】

■開催日時■ 6/18(土) 19:00～21:00

■開催場所■ TAC梅田校 403教室

■担当講師■ ※当日教室へ直行するだけ

●平林 黎

(財務理論・個別成績相談担当)

●由利 隆之

(財務計算・租税法担当)

●合格者チューター ほか

東京から
来校！



★事前質問★

コチラからどうぞ⇒⇒⇒



TAC 公認会計士講座

データリサーチ中間結果

今は「2022年8月に行われる論文式試験の合格」に向かって前に進んでください。

合格得点比率に届かないという判断をせざるを得ない場合には、「学習の進んでいない科目・分野、なかでも『計算系』を補強」そして「短答式試験合格に必要な正確な知識および短答式試験合格を後押しし論文式試験合格を目標とした体系的理解を深める学習の同時進行」の時期であることを意識してください。

【参考】 令和4年（2022年） 公認会計士試験 第Ⅱ回 短答式試験データリサーチ 判定基準得点比率 等

判定	総合得点比率	DR提出者中 中間時 偏差値(注)	DR提出者中 中間時 累積構成比率	DR提出者中 中間時 累積人数	本試験 推測累積人数	本試験 推測合格率	コメント
B	100.0%～74.0%	57.9	19.50%	171 人	510 ～ 670人	3.9 ～ 5.2 %	合格をほぼ実現できると推測される得点比率です。現在の力を維持しながら、論文式試験合格のために計算分野・理論分野共に最大限の努力を積み重ねてください。
C	73.9%～73.0%	57.2	23.95%	210 人	600 ～ 860人	4.6 ～ 6.6 %	合格する可能性が極めて高いと推測される得点比率です。現在の力を維持しながら、論文式試験合格のために計算分野・理論分野共に最大限の努力を積み重ねてください。
	72.9%～72.0%	56.5	28.28%	248 人	800 ～1,080人	6.2 ～ 8.3 %	「DR偏差値・構成比率・本試験推測人数」および「DR採点と本試験採点との相違の可能性」（相違があっても得点比率維持）の観点から、合格の可能性が高いと推測される得点比率です。計算分野の再確認を行いつつ、論文式試験合格のために計算分野・理論分野共に最大限の努力を積み重ねてください。
	71.9%～71.0%	55.8	32.27%	283 人	970 ～1,140人	7.5 ～ 8.8 %	「DR採点と本試験採点との相違の可能性」（相違があっても得点比率維持）および「論文式試験受験者数増加可能性」の観点から、合格の可能性があるとして推測される得点比率です。自己の弱点を認識し、まず計算分野を克服しその後に計算力を維持しながら論文対策を含め理論分野の充実を図ることを願います。
D	70.9%～70.0%	55.1	37.74%	331 人	1,110 ～1,370人	8.6 ～ 10.2 %	「論文式試験受験者数増加可能性」の観点から、合格の可能性を否定できない得点比率です。自己の弱点を認識し、まず計算分野を克服し、その後に計算力を維持しながら、論文対策を含め理論分野の充実を図ることを願います。
	69.9%以下						合格の可能性は高くはないと思われます。自己の弱点を認識し、まず計算分野を克服し、その後に計算力を維持しながら、論文対策を含め理論分野の充実を図ることを願います。

A判定：平均合格可能性-90% B判定：平均合格可能性-70% C判定：平均合格可能性-50% D判定：平均合格可能性-30% E判定：平均合格可能性-10%

(注) データリサーチシステム内で表示される「総合偏差値」ではなく「総合得点比率」をもとに再度演算を行っています。

5月短答後の論文に向けたポイント

1. 租税・経営について、できるだけ早期にインプットの積み残しをなくす。

2. 論文全国模試2回目(6/28~30又は7/2・3土日クラス)を一区切りとして、できるだけアウトプットの積み残しをなくす。

論文答練を受けて形式に慣れつつ、**租税(特に法人税テキスト①)**と**経営の計算**で基礎的な問題が取れるように練習。

★TAC Youtubeバーチャル模試(1・2・3時間ver有り)

会場の雰囲気を感じながら答練を解きたい場合に活用。

3. 財務計算/管理は、論文答練・アクセスを活用して、計算力を維持。

4. 論点ズレの原因となるため、答練の模範解答を丸暗記しない。

5. 暗記すべき概念・用語等は毎日こまめに確認。

6. 全国模試2回目後は、特定の科目に偏り過ぎず、バランスを意識。

★論文模試の申込み締切が6/13(月)まで(通学生)

★未受験の論文答練があれば、7月末までにできるだけ受験・提出。

(全国模試以外は締切を過ぎても採点・成績反映される。)

租税法 教材の優先順位

計算の未受講部分は、短期集中講義を活用。理論は上級18・19・20。

テキスト以外の教材の優先順位

アクセス1～4>基礎答練>アクセス5～9>アクセス10,11
>応用/直前答練/全国模試 計算A論点>答練・全国模試 計算B論点

★短期集中講義で取り扱っている論点は固める!

詳細は「論文式試験学習法セミナー」参考

※応用・直前答練・全国模試の計算部分を全く見ないというのは危険。

膨大かつ難しそうな資料から、簡単な箇所を取る練習が必要。

ex.全国2までに主にアクセス・テキスト反復



全国2後、直前答練を時間配分の演習として使用

★応用以降の租税理論答練は全て使う(応用、模試、理論補強答練、直前答練)。
アクセス・テキストの反復状況によっては、理論対策は全国模試2後でもOK。

※租税上級講義10～17については、状況によっては受けない。又は、上記積み残しがなくなり
アクセスが解きやすくなってから、8月頭まで理論対策の意識でやる気が出ない時間帯に受け進めるなど。

6月以降の校舎実施カリキュラム

積み残しがある場合の詳細スケジュールは
「論文式試験学習法セミナー」参考

6月

論文直前講義 各1回 監査・改正
論点

財計は
出題範囲
有り

出題範囲
有り

出題範囲
なし

財計・管理
論文
アクセス答練
11-14

租税計算
アクセス答練
10-11

論文直前答練1・2

7月

6/28~30(火~木)、7/2・3(土・日) 論文全国模試2

論文直前答練 3
(監査企業のみ4回目あり)

出題範囲
なし

7月末 論文答練本試験前返却答案 採点受付締切

8月

【回転期】全科目1~2週間以内に論点1周など。暗記系はテキスト付箋や目次活用で頻度をアップ。
特に最後の2週間は、計算科目の論点1周とメンテナンスを意識(正確性・スピード・網羅的な知識)。

8/19~21(金~日) 論文式本試験

計算総合問題 よくいただく質問

Q. 計算総合問題で、集計ミス・転記ミスがなくなります。

問題用紙の脇にメモした仕訳・数値の拾い漏れがよく起きます。

A. 下書きが小さい・分散してしまっている可能性が高い。

集計漏れの起きやすい論点は、下書き用紙に一元化を意識する。

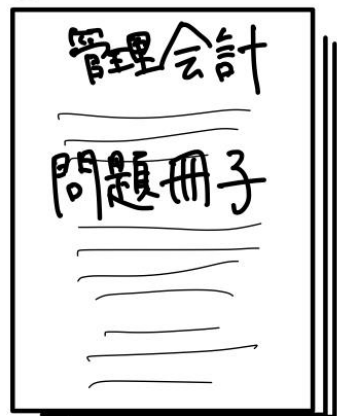
論文の場合、以下を試してみる。

① 問題用紙を大問ごとにホチキス留めする。

② 他の大問の問題用紙裏を下書きとして使う。

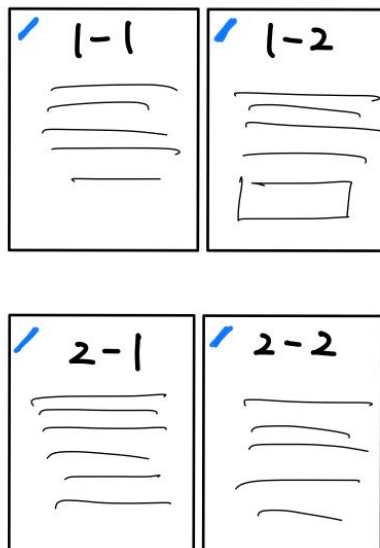
使える下書きが大問ごとに3~8枚などに増える！

ex.

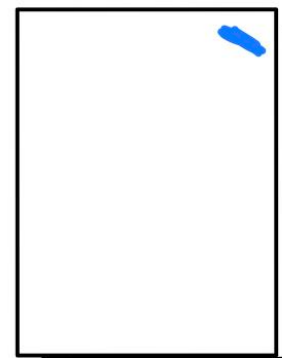


大問や
小問で
分ける

留め



裏返して下書きに。



1-1を解く際に
他の小問裏を
使う。

70%の方 よくいただくご質問

Q.計算は得意でしたが、理論科目で凹みました。
租税法経営学を進めてよいでしょうか。

- 計算について、テコ入れが必要なく得意、論文応用答練まで受け切っていたなどの場合でしたら、ご本人の希望にもよりますが、租税法の法人税①部分だけ又は所得税①まで受ける、6月末の論文模試まで受けるなどがあります(ex.今回の凹みが時間配分など短答特有のアウトプットの面での不足であり、インプットや計算力は十分にあるため、7月以降のアウトプット対策で短答は合格レベルへ持って行けるという自信がある場合など)。
- ただし、これは「財務計算が得意です!」と自信を持って言い切れる人だけへのアドバイスです。一般的には、夏まで短答科目のテコ入れ(特に計算)が必要なことが多く、12月以降の開始とする方が多いです。
- 経営については、財務計算・管理が得意かつ租税の基礎論点部分が既に終了、専念生で時間が余っており、やる気が起きない時間帯が多い、などの場合多少進めることがあります。租税よりも優先順位は低いです。短答科目・特に計算が優先です。

12月へ向けて基礎固めを行う場合のポイント

1. 受験生全体の**正答率の高い問題**について原因分析し、現時点で不足している力を特定する。

ex. 時間配分? やらかしミス? テキストを見ながらであれば解けたか?
output input.

2. 6月末・7月末などに、個人目標を設定する。

計算が苦手な場合、最優先で復習する。まず6月中にテキスト例題・トレーニング等。

7月から短答対策講義開始。問題ではなく論点をつぶす。

7月半ばから短答アクセス、8月後半から短答基礎答練。10月から直前答練開始。

3. 全科目テキストを大事に、短答論文同時進行の意識で対策を進める。
基礎的な概念・処理を口頭で説明できるか。

取り組んでいる分野について、短答対策も論文対策も行っている意識を大事にする。

問題集は、あくまで**テキストの理解・暗記の穴**や、**アウトプット時の行動修正**のきっかけとする。

★6/4(土)18:30-のリスタートセミナー【岡本・岡田・平林】(アーカイブ有り・外部生参加可能)を視聴する。
(近日アーカイブ配信開始)。

★不足している力を補うために、不足している力に応じて受験経験者向け講義を活用(次ページ)。

12月へ向けて基礎固めを行う場合のポイント

不足している力を補うために、目的に応じて受験経験者向け講義を活用

インプットを強化したい場合

今年からインプット強化の
短答対策講義配信

- 計算や、特に手薄な論点については、「WEB論点別対策講義」をピンポイントで活用。
- 主に関西収録版 短答対策講義（財務計算など一部科目はアウトプット対策）を活用し、テキストの理解。

アウトプットを強化したい場合

主に関東収録版 短答対策講義（一部関西収録版）で、過去問を用いた演習。

ex. 答練の他に、時間配分・解く際の行動の修正等を図りたい場合

▼各講師の詳しい講義方針

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/broadcast.html



各講師 講義方針

おすすめコース：上級生向け講義・論文までの教材・サポート制度が全て付いている、

「上級Wチャンス本科生」コース。詳しくはスライド末尾参照。

※「上級ストレート本科生」は、12月短答を受けない場合のコース（会計大学院卒業の方など）。

12月短答までの大まかなスケジュールとポイント(上級本科生)

★正解状況の分析。

インプット・アウトプットの不足等原因特定。

★6月末・7月末に弱点克服の中期目標を設定。

特に財務計算。cf.6/27簿記スタンプラリー(オンライン版も調整中)

★全科目、テキストを大事に。短答論文同時進行。

★理論科目は、講義等で理解を強化、不明点解消、短答論文ともに覚えるべき事項を特定。

重要概念を説明できるように。

★計算の定着に合わせて、理論科目の比重を徐々に増やしていく。

本試験レベルの難易度。

結論暗記&計算メンテナンス。
特に最後の2週間は、
計算科目の論点1周を意識。

理論科目は前半のみとなる見込み。計算は全範囲(主に基礎マスター論点)。

短答基礎答練①

短答基礎答練②

短答直前答練①

短答直前答練②

短答直前答練③

理論科目
短答
アクセス答練
全5回

7月半ば～
財計・管理
短答
アクセス
答練
全15回
(各週1回)

毎週準備して受ける。
正確性・スピードの向上/維持
のため、回転教材として繰り返し
解く(網羅性はテキストで)。

11月半ば頃 短答全国公開模試

12/11(日) 短答式本試験

短答対策
講義

各講師の
講義方針はこちら



Web
論点別
講義

8月26日
～
9月15日
短答式本試験 出願

6/29(水)19時～奨学生試験

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

Input
強化

output
強化

いつでも頭から知識が取り出せる状態に。

計算が苦手な場合 6・7月は計算中心!

【具体的な進め方の例】

●6月上旬「苦手を潰す」

テキスト例題を解く。まずはテキスト①～⑨+追加論点講義テキスト

2週間以内(1日1冊弱)に確認。▶苦手論点を洗い出してweb論点別講義で補完する

●6月下旬「全体復習する」

具体的には、トレーニング・トレーニング短答・過去問集(虫食いでいろんな論点に触れる)
解けなければ再度、テキスト例題まで戻る。

問題を解く際はすぐに解答を見ないように!

テキスト見ながらでもよいので、考えて解く。処理を口頭で説明できるか?

(アクセスが始まるまでもう1周できるとベスト)

●7月中旬 アクセスの出題範囲表に合わせてさらにもう一回復習

アクセスの予習の際には 上記3点セットに+テキストの読み込み

★テキストを読む際・・・論点ごとにメリハリを付ける!

不安・苦手な論点→例題まで解いてみる。

大丈夫かなという論点→例題まで解く必要はない。

※特にPL・BSの区分に注意

7月までにトレーニングと過去問集「易」レベルは完璧に解けるような状態に。

テキスト例題・トレーニングを解く際には、「シート」を利用。

期中仕訳・決算整理仕訳を意識。

【例題１－１】 リース料支払時

(1) ×１年１月１日（リース開始時）

(借)	(貸)
-----	-----

(2) ×１年12月31日（リース料支払時）

(借)	(貸)
-----	-----

(3) ×２年12月31日（リース料支払時）

(借)	(貸)
-----	-----

【例題１－２】 リース資産及びリース債務のＢ／Ｓ表示

(1) ×１年１月１日（リース開始時）

(借)	(貸)
-----	-----

(2) ×１年12月31日（リース料支払時）

(借)	(貸)
-----	-----

(3) ×１年12月31日（決算整理）

(借)	(貸)
-----	-----

(4) 貸借対照表（×１年12月31日）

貸 借 対 照 表	
Ⅱ 固 定 資 産	Ⅰ 流 動 負 債
１．有形固定資産	リ ー ス 債 務 ()
リ ー ス 資 産 ()	Ⅱ 固 定 負 債
	リ ー ス 債 務 ()

【例題１－３】 減価償却

① 所有権移転ファイナンス・リース取引

(借)	(貸)
-----	-----

② 所有権移転外ファイナンス・リース取引

.....	
-------	-------

【例題３－１】 合 併（取得が複数の取引で達成された場合）

(1) 個別上の合併仕訳（Ａ社）

① 振戻処理

(借)	(貸)
-----	-----

② 合併仕訳

(借)	(貸)
-----	-----

(2) 合併後Ａ社個別貸借対照表

貸 借 対 照 表	
諸 資 産 ()	諸 負 債 ()
土 地 ()	資 本 金 ()
の れ ん ()	資 本 剰 余 金 ()
	利 益 剰 余 金 ()
()	()

(3) 連結修正仕訳

(借)	(貸)
-----	-----

(4) 連結貸借対照表

連 結 貸 借 対 照 表	
諸 資 産 ()	諸 負 債 ()
土 地 ()	資 本 金 ()
の れ ん ()	資 本 剰 余 金 ()
	利 益 剰 余 金 ()
()	()

簿記 スタンプラリー

参加して**基礎力のチェック**をしよう!!

ぜひ、奮って
ご参加
ください。
要予約

2022年5月短答式試験を受験された方を対象に、財務会計論（計算）の集中特訓を行います。
当日は複数名のTAC講師陣が個別に質問をお受けします！
入門期にしっかりと簿記をマスターしてもらう為の企画です。

～ スタンプラリー ルール説明 ～

- 1** 渡されたミニテストを
解いて、
講師に
渡してください
- 2** その場で
採点します！
満点が取れたら、
次のテストに進みます
- 3** 満点を
取れなかった方は、
再度やり直し
(テキスト参照OK)
- 4** 2回解いても
わからなかった問題は
講師へ
質問をしてください
- 5** 全問満点を
取れた方から
自由解散とします

対 象

- ・ 2022年5月短答式試験を受験された方
- ・ 2023年合格目標 公認会計士講座 TAC受講生の方で3/28の簿記スタンプラリーに参加できなかった方

日時 / 場所

2022年6月27日(月) 10:00～17:00 TAC渋谷校 301教室・302教室

定 員

各120名 (先着)

参 加 費

無料 / 予約サイトで要予約 (前日12:00迄)

持 ち 物

会員証・電卓・筆記用具・テキスト (必要な方)

内 容

基礎マスターI～Ⅳのミニテストを満点が取れるまで解き、
わからない問題はその場で講師やチューターに質問して、疑問点を解消してください！

別途オンライン版実施検討中

計算科目を
早期に習得すると
合格率が格段に
あがります！

予約サイト (TAC渋谷校)

予約期間: 2022年6月 6日(月) 正午～
6月26日(日) 正午まで



https://tacschool.resv.jp/direct_calendar.php?direct_id=116

※ 自治体の要請により中止になる場合もございます。
予めご了承ください。

計算はある程度取れるがあと一歩足りない場合

例題をP/L・B/S区分を意識して復習する。
トレーニングなどが解ければ、
パワーアップ問題(なければアクセスの総合問題)

まずは正確に解く。



制限時間を2/3に縮めてみる。不要な下書きはないか？

テキスト切り替えについて

●22目標が初学者だった場合

以下の科目について、8月末か9月末に掛けて、網羅的に復習を進めるにつれて更新。

- ・書き込みが多く読めない(特に財務理論)、すっきりした紙面にしたい
- ・新しい解説の方が使いやすいと感じる(財務計算のテキスト8など)
- ・心機一転新しいテキストで復習をしたい(わかったつもりでいたページも、かなり発見がある)

租税法と経営理論(テキスト3・4)については、改正が考えられるため、12月以降更新(23目標租税法テキスト①は配付済み。経営ファイナンスについては変えない)。

社会人かつ計算が苦手な方で、どうしても時間がない場合・・・監査論だけ更新(もしくは+財務理論テキスト)。

●内容面でいうと、監査論の切り替えは必須。

テキストに**図表・監基報番号・例示**などが加わり、**全300ページから400ページに増加**しているため、短答答練などの参照ページがずれる。

インプットを丁寧にさらい直したい人は、Web論点別講義を受けながら進める。

●22目標が上級生だった場合

21目標テキストのまま使っていた方は、全科目についてテキスト刷新をしながら、**全体的な基礎のさらい直し**が必要なケースが多い。2年前のテキストは基本的に使わない。

テキスト切り替え 反映するもの

テキスト切り替え時 必ず反映するもの

(写すこと自体ではなく、網羅的な復習が大きな目的)

- 短答・論文の重要性(これは覚える!など)
- もしあれば、講義中のマーカー(財務理論 Web論点別講義でマーカー指示も実施)
- 今見ても重要だと思える書き込みだけ、書く。できるだけ余白を残す。

※22目標短答/論文答練の書き込み等は写さない。23目標の最新版で実施。

※監査論は、マーカーを引き過ぎるとノイズになり地の文が読めなくなるため、元々初学者向けの講義中も、マーカーの指示はされないケースが多い。
もしも重要なところを強調したい場合・・・論文問題集の「point」該当部分を消せるペンで薄く引いたり、シャーペンでチェックする程度に。
すっきりとした紙面のままにしておく。

監査論テキストの改訂について

第2節 監査意見と監査手続

第2節 監査意見と監査手続

監査の目的は、財務諸表に対する意見の表明にあり、そのための監査の実施における最終目標は、監査人が自己の意見を形成するに足る基礎を得ることにある。

本節では、監査人がどのような論理過程を経て意見形成の基礎を得るに至るのか、その過程において監査人が選択適用する監査手続及び入手する監査証拠について解説する。

【学習上のポイント】

- ❑ 監査人は財務諸表全体としての適正性という大局的・抽象的命題をどのような過程を経て立証するか。
- ❑ 財務諸表全体としての適正性、財務諸表項目の適正性及び監査要点（アサーション）はどのような関係にあるか。
- ❑ 財務諸表項目ごとの監査要点として一般的なものとしてはどのようなものがあるか。
- ❑ 監査の過程において監査人は、どのような目的から、どのような監査の手法としての監査手続を用いるか。
- ❑ 監査要点が立証されるためには、監査証拠がどのような条件を満たしていることが必要となるか。
- ❑ 分析的手続は、監査のどの段階で、どのような目的で用いられるか。

【重要コンセプト】

財務諸表の適正性と監査要点（アサーション）

監査証拠の適合性と証明力

十分かつ適切な監査証拠と意見形成の基礎（意見表明の基礎）

【関連法令基準等】

- ・監査基準委員会報告書 500 「監査証拠」
- ・監査基準委員会報告書 501 「特定項目の監査証拠」
- ・監査基準委員会報告書 505 「確認」
- ・監査基準委員会報告書 520 「分析的手続」

《本テキストの主要な変更点》

前年度合格目標の上級テキストからの主要な変更点は、以下のとおりである。

(1) 入門テキストとの一体化等

法令基準等の制定改廃と直接関連しないが、当年度より入門テキストと上級テキストを一体のものとして作成している。これに伴い、一部構成を変更するとともに記述や図表を追加するほか、章を構成する節ごとに概要や学習上のポイント等を冒頭に示している（ただし、上級テキストは基本的に、従来から入門期で扱う内容を網羅しており、この点に変更はない。）。

なお、近年、監査実務指針の量が一層増していること、及び、論文式試験において配付される法令基準等が解答の参考となる出題の増加が見られることから、テキストで扱う内容に関連する報告書の参照項番号を付すこととしている（報告書の付録についても適宜参照を示しているが、報告書の付録は法令基準等に収録されない点に留意する必要がある。）。

(2) 監査基準の令和2年改訂に対応して改正された監査実務指針への対応

令和2（2020）年11月に改訂された監査基準に対応して改正された監査実務指針のうち、令和5（2023）年3月決算に係る財務諸表の監査から実施するものとされる以下のものについて、改正事項を反映するために記述を修正・追加している（第3章第4節1（3）①及び第5節（主に1、3及び4））。

- ① 監査基準委員会報告書 315 「重要な虚偽表示リスクの識別と評価」
- ② 監査基準委員会報告書 540 「会計上の見積りの監査」

(3) 「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」による公認会計士法の改正等を受けて改正された監査実務指針への対応

改正により、監査報告書の署名について、自署又は電子署名によるものとされ、また、監査人が提供し、又は入手する書面（監査報告書、経営者確認書、監査役等とのコミュニケーションなど）について、書面又は電磁的記録と改められたことに対応して記述を修正している。

なお、TAC監査論研究会では、テキストについて、試験の出題傾向を踏まえ、出題可能性及び重要性並びに全体的な学習のバランス・効果・効率の観点から、毎年度全般にわたる見直しを行っており、上記のほか、必要な範囲で記述の充実及び削減並びに順列の整理を行っている。

(3) 全般的な結論を形成するための分析的手続

監査人は、監査の最終段階において、企業に関する監査人の理解と財務諸表が整合していることについて全般的な結論を形成するために実施する分析的手続を立案し、実施しなければならない。[監基報520:5]^(*)

この分析的手続の結果から得られた結論は、財務諸表の個別の構成単位又は構成要素について監査中に形成された個々の結論を裏付けることが意図されており、監査人が意見表明の基礎となる結論を導くのに役立つ。

この分析的手続を実施した結果、これまで認識していなかった重要な虚偽表示リスクを識別した場合、監査人は、重要な虚偽表示リスクの評価を修正し、これに応じて計画したリスク対応手続も修正しなければならない。

(4) 分析的手続の結果の調査

分析的手続により、他の関連情報と矛盾する、又は推定値と大きく乖離する変動若しくは関係が識別された場合、監査人は、以下を行うことにより当該矛盾又は乖離の理由を調査しなければならない。[監基報520:6]

- ① 経営者への質問及び経営者の回答に関する適切な監査証拠の入手^(*)
- ② 状況に応じて必要な他の監査手続の実施^(*)

《例 示》 分析的手続のイメージ

① 分析の実証手続

固定資産台帳							
(単位：千円)							
	取得価額	期首簿価	耐用年数	減価償却方法	償却率	減価償却費	期末簿価
A備品	1,000	800	10	定率法	0.200	160	640
B備品	1,500	1,250	8	定率法	0.250	312	938
C備品	2,000	2,000	15	定率法	0.133	266	1,734
合 計	4,500	4,050				738	3,312

【アサーション】	期間配分（減価償却費）
【許容可能な差異】	50
【推定値】	加重平均償却率 0.182（＝0.200×（800÷4,050） ＋0.250×（1,250÷4,050） ＋0.133×（2,000÷4,050） 減価償却費 推定値 738（＝4,050×0.182） ^(*) 計上額 738 差 異 0
【結論】	減価償却費の計上額は妥当

② 全般的な結論を形成するための分析的手続

勘定科目	20X1/3	20X2/3	増減額	増減率(%)	理由
現金預金	100	150	50	50	・ ・ ・ ・ ・
売掛金	200	240	40	20	・ ・ ・ ・ ・
受取手形	200	180	△20	△10	・ ・ ・ ・ ・
有価証券	50	80	30	60	・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・					
・ ・ ・					

全般的な結論を形成するための分析的手続においては、例えば、上記のように前期と当期の実績について比較分析を行い、財務諸表から識別される矛盾や異常な変動の全てについて、それが虚偽表示によるものではないことについて妥当な説明付けが得られていることを確かめることになる^(*)。

(*)1 全般的な結論を形成するための分析的手続は、リスク評価手続として利用される手続と同様である場合がある（次頁参照）。

(*)2 監査人は、企業及び企業環境に関する監査人の理解を考慮に入れ、監査の過程で入手した他の監査証拠とともに経営者の回答を評価することより、経営者の回答に関する監査証拠を入手する。

(*)3 例えば、経営者が説明できない場合や経営者の回答に関連して入手した監査証拠と照らして経営者の説明が不適切と考えられる場合には、他の監査手続を実施する必要性が生じることがある。

(*)1 上記例示のように総額に平均値を乗じることで概算額として推定値を算定して財務情報の合理性を検討する手法は、オーバーオール・テストと呼ばれ、減価償却費や利息について用いられる。

(*)2 リスク評価手続として実施する分析的手続においては、例えば、前期の実績と当期の予算について同様の比較分析を行い、通例でない又は予期せぬ関係の識別を通じて重要な虚偽表示リスクを識別することになる。

(5) 不正リスクに対応した監査の実施

不正リスクへの監査の実施上の対応は、基本的に、前項で扱ったとおりであるが、不正リスク対応基準は、一定の場合に監査手続をより慎重に実施することを明確化している^(*)。

[監基報240:F35-2～F35-4]

- ① 監査人は、不正による重要な虚偽表示を示唆する状況を識別した場合には、不正による重要な虚偽表示の疑義が存在していないかどうかを判断するために、適切な階層の経営者に質問し説明を求めるとともに、追加的な監査手続を実施しなければならない。
- ② 監査人は、以下の場合には、不正による重要な虚偽表示の疑いがより強くなることから、**不正による重要な虚偽表示の疑義**があるととして扱わなければならない。
 - a) 不正による重要な虚偽表示を示唆する状況について、関連して入手した監査証拠に基づいて経営者の説明に合理性がないと判断した場合
 - b) 識別した不正リスクに対応して追加的な監査手続を実施してもなお十分かつ適切な監査証拠を入手できない場合
- ③ 監査人は、不正による重要な虚偽表示の疑義があると判断した場合には、**想定される不正の態様等に直接対応した監査手続**を立案し監査計画を修正するとともに、修正した監査計画に従って監査手続を実施しなければならない^{(*)2}。

【研究】不正が疑われる状況に係る概念定義と監査上の対応の整理

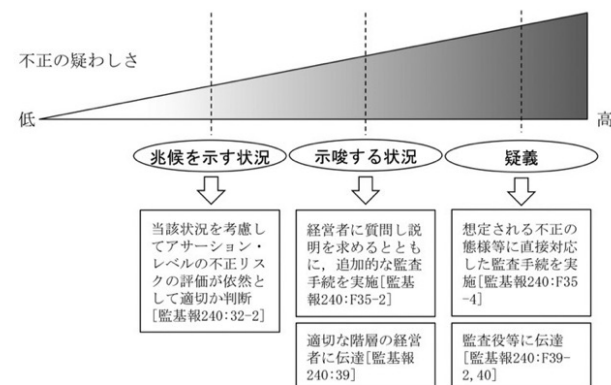
監査実務指針では、不正が疑われる状況について、その疑わしさの程度に応じて以下の3つの語句が用いられる。

- ① 不正による重要な虚偽表示の兆候を示す状況とは、不正による重要な虚偽表示が行われている可能性を示す状況をいう。[監基報240:10(4)]
- ② 不正による重要な虚偽表示を示唆する状況は、不正による重要な虚偽表示の兆候を示す状況のうち、不正による重要な虚偽表示が行われている可能性がより高いものをいう。[監基報240:10F(5)]
- ③ 不正による重要な虚偽表示の疑義とは、不正による重要な虚偽表示の疑いが高いと監査人が判断した状況をいう。[監基報240:10F(6)]

不正の疑わしさの程度は、「①兆候を示す状況」<「②示唆する状況」<「③疑義」となり、各状況と監査上の対応は、以下のように示すことができる。

(*)1 上記のほか、監査計画の策定に当たり不正リスク要因を考慮することや監査の各段階において監査役等との連携を図ること等が明確化されている。

(*)2 監査人は、経営者の関与が疑われる不正又は不正の疑いを発見した場合（不正による重要な虚偽表示の疑義があると判断した場合を含む。）には、監査役等に報告し、協議の上、経営者に問題点の是正等適切な措置を求めるとともに、当該不正が財務諸表に与える影響を評価しなければならない。



《例 示》不正による重要な虚偽表示の兆候を示す状況と不正による重要な虚偽表示を示唆する状況の具体例

以下、参考までに不正による重要な虚偽表示の兆候を示す状況と不正による重要な虚偽表示を示唆する状況の具体例を示しておく。

- ① 不正による重要な虚偽表示の兆候を示す状況 [監基報240《付録3》]
 - ・ 従業員が、業務の遂行上必要のないシステム又は記録にアクセスした証拠が存在する。
 - ・ 質問や分析の手続の結果、経営者や従業員から入手した回答に矛盾が生じている、又は説明が曖昧であったり、信憑性が疑われる。
 - ・ 監査に必要な情報の提供を著しく遅延する。
 - ・ 企業が属する産業における一般的な会計方針とは異なる会計方針を採用しようとしている。
- ② 不正による重要な虚偽表示を示唆する状況 [監基報240《F付録4》]
 - ・ 監査人に、不正の可能性について従業員や取引先等からの通報がある（監査事務所の通報窓口を含む。）。
 - ・ 関連当事者又は企業との関係が不明な相手先（個人を含む。）との間に、事業上の合理性が不明瞭な重要な資金の貸付・借入契約、担保提供又は債務保証・被保証の契約がある。
 - ・ 重要な取引に関して、重要な記録等に矛盾する証拠が存在する、又は証拠となる重要な文書を紛失している。
 - ・ 期末日近くに経営成績に重要な影響を与える通例でない修正が行われている。
 - ・ 企業の記録と確認状の回答に説明のつかない重要な差異がある。
 - ・ 合理的な理由がないにもかかわらず、監査人が、記録、施設、特定の従業員、得意先、仕入先、又は監査証拠を入手できるその他の者と接することを企業が拒否する、妨げる、又は変更を主張する。
 - ・ 企業が、財務諸表に重要な影響を及ぼす取引に関して、明らかに専門家としての能力又は客観性に疑念のあると考えられる専門家を利用している。



岡本匡央@TAC関西会計士講師
@Okamoto_TACwest

公認会計士を18年。TAC関西で管理会計論。PwC→DTT→現職は監査法人の代表社員。コンサル、ガチ受験指導。講義は分かりやすいのは当たり前で、点数がとれるようにしているのが講師の仕事と思っている。予備校不問で、間違った勉強をしている人を救いたく、本気の人だけ相談に来て。趣味は酒場探訪、ハモリ、株値アルゴリズム解析。

担当
管理会計論

岡本匡央@TAC関西会計士講師
@Okamoto_TACwest
2021年論文の会計学（午前）で各予備校が期待する得点比率は概ね第一問が5割、第二問が2割。それだけ。基本問題を確実に合わせるだけで圧倒。いかにTACテキストから出たかを説明し、反響あったけど、重要なのは「テキスト記載内容がたくさん出た」ことより「そのテキストの文字がみんなデカく412ページしかない」こと。なぜそんなに中するの？教材作成チームが優秀だからよ（私は全く関与してない）

**予約不要
どなたでも
参加OK!!**

岡本匡央@TAC関西会計士講師
@Okamoto_TACwest
上級講義最終回に論文式試験を配り、いかにTACテキストから出たかを説明し、反響あったけど、重要なのは「テキスト記載内容がたくさん出た」ことより「そのテキストの文字がみんなデカく412ページしかない」こと。なぜそんなに中するの？教材作成チームが優秀だからよ（私は全く関与してない）



司会進行

平林
黎
講師

**TAC 会計士実務家講師が
提唱する…**

超★効率的合格術

**TAC
だから
できる!**

これが合格直結の 学習法だ!



↑
事前質問
受付中!

ご参加は
こちらから
ID: 9892 3289 564
パスコード: 933 337



2022年
6/4 (土)
18:30~20:30
@Zoom

みなさんは「出題範囲」を全て網羅することが合格するためには絶対でしょ!」と思いませんか？でも少し考えてみてください。果たして試験までにその膨大な学習量をこなすことができるでしょうか？このセミナーでは【公認会計士試験(合格)】に直結させる効率的な学習法とはどんなものか?その核心についてお話しします!

岡田健司
@okadak_tac
論文の勉強をしている受験生を指導しているときに思うこと。
①監査の全体像、②監査のスケジュールの流れ、③各論点のつながり、を頭で叩き込むべきです。費用対効果を考えて効率的に勉強しよう! #TAC岡田論文メモ

【2023目標TAC生の皆さんへ】
今日から、監査論の講義配信が始まりました!

- ・ (講義の特徴)
- ・ 図表を活用して全体像を掴む
- ・ 図表を活用して監査の時系列を掴む

とにかく、監査は、繋がりが、流れ、全体像の把握が重要!

最初のころは細かいことは気にせず全体感を掴むように、ともに頑張りましょう!



岡田
健司
講師



岡田健司
@okadak_tac

公認会計士・税理士TAC神戸梅田校で監査論を担当しています。普段監査法人勤務。予備校とどこかわかりず。監査の質問お気軽にどうぞ(時期によっては返事遅れます)。監査論は一見難しいけど、わかるまで質問し、わかれば費用対効果たぶん高いです。あまり時間かけちゃダメなので過去問解説やってます。

個別学習相談Week!実施

TAC 関西
各校舎にて

**どなたでも
参加OK!!**

疑問や不安をお持ちの方に、TACの講師が一人一人に合わせたアドバイスいたします!
TAC生じゃなくてもOK!今後の学習プラン、試験対策、自習法など、どんなことでもご相談ください。

2022年
5/30 (月)~6/5 (日)

詳細はコチラから →



資格の学校
TAC
公認会計士講座

Ⅲ.各種質問・相談窓口等

校舎・zoom質問コーナー

科目ごとの内容質問・学習の進め方等について、講師に直接相談可能。
事前予約は不要。混んでいる時は15-20分ほど目安。

質問コーナー日程表(受講生HP「@C.P.A」)

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/kaikei_gd_situmon.html



質問コーナー日程表

TAC公認会計士講座【関東地区 質問・相談コーナー】5月予定表 確定版											
・【質問・相談コーナー】(成績情報除く)は、 表中のみ参加の方の受講情報 にもご利用いただけます。ご利用方法は各校舎にお問い合わせください。 ・オンラインで質問できる「質問・相談コーナー(ZOOM版)」の利用方法は、TAC 教室 50000以内のお知らせ(TOPページ)をご覧ください。											
日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
5/1											
5/2											
5/3											
5/4											
5/5											
5/6											
5/7											
5/8											
5/9											
5/10											
5/11											
5/12											
5/13											
5/14											
5/15											
5/16											
5/17											
5/18											
5/19											
5/20											
5/21											
5/22											
5/23											
5/24											
5/25											
5/26											
5/27											
5/28											
5/29											
5/30											
5/31											

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段

「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」
リンクから待機室へ

学習フォロー
[i-support]

学習記録

ビデオブース予約・
教室情報

登録情報

問い合わせ

ヘルプ

ログアウト

一覧を見る

動画
6/開催)

開催いたし

除対象の
セミナー」

記信いたし

た方は、よろ

短答トレーニングアプリ提供開始のご案内

短答向け対策用デジタル学習ツールとして、「短答トレーニングアプリ」のご提供を開始します。
→ご利用希望の方は、利用登録申請をお願いします。→[利用登録申請ページ](#)

Zoomを利用した質問・相談コーナーについて(修了者を除く)

オンラインで講師に直接、質問・相談できる、Zoom(インターネットを利用したテレビ会議システム)を活用した相談制度を実施しております。
■オンライン質問・相談コーナー(ZOOM版) ←サイト閲覧パスワード: [パスワード]

受講生向けサイト情報

■受講生サイト「@C.P.A」

■講義日程表ページ

■質問・相談コーナー(合格者チューター)

■個別成績相談

■デジタル教材利用案内

■TAC就職サポート

■新規入会者紹介制度

■受講ガイド

バーチャル模試

公認会計士受験生のためのバーチャル模試をご用意しました(YouTube配信)。会場の雰囲気を感じながら答練を解きたい方は、ぜひご利用ください。

■1時間Ver

■2時間Ver

■3時間Ver

個別成績・学習方法相談（久^く野^の/平林/蓮尾/塚本）

毎週土曜日13時～次週1週間分をネット予約受付
<https://tacschool.resv.jp/>

※校舎・zoomで実施しています。

※個別成績・学習方法相談の予約が取れない場合には、
予約不要の校舎/zoom質問コーナー（財務理論・平林/蓮尾）でも、
短時間ではありますが学習相談を承っています。

●個別成績・学習相談日程表（受講生HP「@C.P.A」）

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/seiseki-sodan.html



TAC会計士講座 就職サポート(相澤)

フリーダイヤル 0120-527-699 (平日14~17時)

メール counselor@tac-school.co.jp

- ※ 監査法人への就活・転職以外にも、会計事務所等や一般事業会社への就職・転職や、仕事を辞めて受験専念にするか、卒業後働きながら受験を継続するか、受験対策を中断して就職する場合のエントリーシートの書き方等の相談など、TAC生はぜひお気軽に相談してみてください。
- ※ zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC就職サポートイベント情報

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support.html



6/29(水) 奨学生試験.

重要事項の掲載場所/内容

受講生サイト「@C.P.A」



受講生サイト@C.P.A.

- 講義日程
- 個別相談 ● 質問コーナー日程表
- 本試験解答速報等
- 合格体験記



合格体験記・合格者の声

※3月HRアーカイブ資料
「合格者答案」・「メッセージ集」
(Web School「講座からのお知らせ」欄) も参照

Web school

- トップページ …… ● Zoom質問コーナー(予約不要)
- 「講座からのお知らせ欄」(毎週check!)
- 「学習フォロー」… ● 教材(進捗表、論点チェックリスト等)
- 質問メール ● 正誤表
- 「学習記録」 …… ● 成績表

TAC公認会計士講座Twitter
TAC関西会計士Twitter
TAC講師 Twitter リスト

https://twitter.com/tac_cpa

<https://twitter.com/TACwestCPA>

<https://twitter.com/i/lists/1473831538869796864>



会計士講座
Twitter



TAC関西会計士
Twitter



TAC会計士講座
講師Twitterリスト

●合格者からのメッセージ集（模試・本試験成績等含む）

1点でどれだけ偏差値が動くか、どの程度書くと合格ラインに達するか、具体的なゴールの把握に活用する。

(Web School「講座からのお知らせ」欄 論文学習法セミナー配付資料)

[illegible]